

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？ パート8、

7月半ばより始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）オミクロン株の第7波も既にピークを超えて、全数把握も全国一斉にしないことに9月26日よりなりました。

新型コロナウイルス感染者の全数把握の簡略化に伴い、感染者数の発表方法も、母数が限られ実態を表せない、とのことで発表をやめるかと思っただけにまだに発表されています。どういう計算方法を採用しているのかわかりませんが、私達は私たちの方法で今まで通り対応していければ良いと思います。

要は、各スタッフが、主体的に、多職種協働で、感染対策の基本を忘れずに、濃厚接触の可能性あれば症状がなくても早めに把握してハウ・レン・ソウを心がけ、例え自身が感染していても他者には遷さない筈だという予防対策を守ること、ということです。症状がなくてもハウレンソウは必要ですが、症状があればなおさら必須で積極的に勤務を休むことです。

これまでは、クラスターが出なかったのは私達は運がよかった、とも言えますが、これからはいたずらに迷うことなくこの「多職種協働」を今まで通り自覚しながら、着実に実践していけば、大丈夫です。

感染予防対策の基本は、いつも言うように下記です。

- 1, これまでの予防対策の基本（マスク・換気・黙食・手指消毒等）を守っていればまず感染しませんし、万一本人が感染したとしても、他人に感染させる心配はないことが分かっています。
- 2, 周りに感染者があふれていますので県外移動云々は意味ありません。不特定多数と接触する場合、友人でも久しぶりに会う場合、これを意識することです。この場合には「2日ルール」、「3日ルール」、「5日ルール」のどれかをリスクに応じて適用することになりますので同僚・上司へのハウ・レン・ソウが必須です。

